

1988年度関西 神戸FCレディース優勝

1988年度関西女子リーグは9チームの増加があり、地域的にも分散したので、3部西地区と3部東地区を新しく設け、1部6チーム、2部8チーム、3部西5、3部東4チームとして戦った。

1部リーグのトップグループ、神戸FCレディースと高槻女子FCの優勝争いが焦点となったが、対戦2回共引分けとなり、他チームに大量得点した神戸FCが得失点差で1位となり優勝を得た。守りに定評のある神戸FCであり今シーズンは安定した攻撃が出来るようになったのが頼もしい。準優勝の高槻女子FCは技術的には良いものを持っているが、メンバー構成にやや不足が感じられた。大阪FCは今シーズン1部初加入であるが、持前のねばり第3位になったのは立派といえる。西山高、兵教大、高倉中の学校チームの来季の巻き返しを期待している。

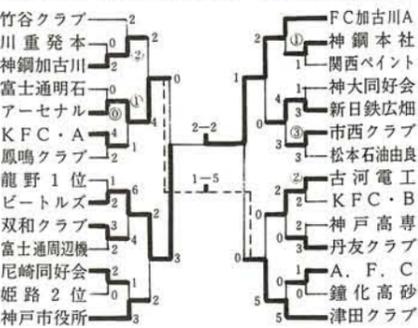
2部リーグも、トップが同勝点で関西けりレディースと啓明女学院が分けあったが、得点力にまさるけりレディースが貯金差で1位を得た激戦りリーグであった。中盤を支配し縦に継ぎフットがあるけりレディース。センターラインを固めオーソドックスな展開、セットプレーよりの得点力がある啓明女学院、ともに昇り調子のチームである。塩原女子高は全国高校女子大会準優勝の勢いに乗り健闘したが3位にとどまった。

初めての3部リーグはまぎれずの成果で来年度に充実が望まれる。

津田クラブ県リーグ昇格

63年度県下社会人都市リーグ決勝大会は10月9日から、しあわせの村ほか各地の会場で28チームが参加して行われた。決勝戦は1月15日に神戸中央でFC加古川とビートルズの間で争われたが相方譲らず2対2、PK戦の末FC加古川が勝ち、県リーグ昇格を果たした。

63年度県下社会人都市リーグ決勝大会結果



県リーグ入替え戦
〆 神崎高級工機(残留) 3-1 ビートルズ
〆 津田クラブ(昇格) 2-1 明南FC

- 有宏スポーツ**
東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m
- 塩谷スポーツ**
兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東
- MEN'S SHOP MAC**
三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141
- ヤノ運動用品**
本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

1988年度関西女子リーグ1部最終成績

順位	1部	神戸	高槻	大阪	西山	兵教	高倉	勝点	得失点
1	神戸FCレディース	1-1	6-0	5-1	13-0	18-0	18	72	
2	高槻女子FC	1-1	6-1	6-0	2-0	3-0	18	31	
3	大阪FCレディース	0-6	1-4	1-1	0-1	2-1	10	-7	
4	高山高校クラブ	1-5	0-6	1-0	2-0	2-0	8	-31	
5	兵庫教育大学FC	0-13	0-2	1-2	0-2	0-1	4	-17	
6	高倉中学校	0-18	0-3	0-1	0-2	1-0	2	-48	

1988年度関西女子リーグ2部成績表

2部	藤原	啓明	塩原	伊丹	芥川	淀川	尼崎	勝点	得失点
関西蹴球L	1-1	5-0	4-0	10-0	4-0	7-0	11	30	
啓明女子高	1-1	1-0	3-0	4-0	1-0	4-0	11	13	
塩原女子高	0-5	0-1	4-0	4-0	4-2	6-0	8	10	
伊丹W.S	0-4	0-0	0-4	0-0	1-0	3-0	5	-7	
芥川高校	0-10	0-4	0-4	0-0	0-0	1-1	3	-18	
淀川女子高	0-4	0-1	2-4	0-1	0-0	1-1	2	-8	
尼崎L.S.C	0-7	0-4	0-6	0-3	1-1	1-1	2	-20	

1988年度関西女子リーグ3部成績表(東ブロック)

3部	桃山	奈良	大阪	マッド	勝点	得失点	差		
桃山中学校	0-0	3-2	2-0	2	10	5	2	3	
奈良教育大	0-0	1-0	1-0	2	10	5	2	0	
大阪教育大	2-3	0-1	2-0	2	10	1	2	4	0
マッドキヤック	0-2	0-1	0-3	0	0	3	0	5	-5

(西ブロック)

大塩サッカークラブ	3-0	クラインSC
神戸女子大学	1-0	神戸医療技術短期大
神戸女子大学	3-0	クラインSC
クラインSC	4-0	神戸医療技術短期大

県女子選手権 神戸FC6回目の優勝

昭和63年度第7回兵庫県女子選手権大会は、2月5日、19日と神戸市総合運動公園補助競技場で、ひよどり台、兵教大、啓明女学院、伊丹ホワイト、神戸女学院大、高倉中、塩原女子、神戸FCレディース、神戸女学院中の9チームが参加して一次リーグを行った。決勝リーグは2月26日、同競技場で一次リーグ各組の1位になった3チームによって争われ、神戸FCレディースが2勝して6度目の優勝を飾った。

決勝リーグ
兵教大(A1位) 4-0 高倉中(B1位)
神戸FC(L1位) 2-0 兵教大(A1位)
神戸FC(L1位) 13-0 高倉中(B1位)
順位 ①神戸FC ②兵教大 ③高倉中

全日本女子選手権大会 関西代表決定

第10回全日本女子選手権大会関西地区予選は13チームが参加して1月8日、4グループに分かれて1次リーグを行い、1月15日、22日、と上位8チームによる決勝トーナメントが神戸総合運動公園内サブグラウンドで開催された。

神戸FC、高槻女子FCの全日本選手権大会出場は誰もが認めるどころであり、注目は関西第三代表に集まる。大阪FCは初戦に雨中戦で若い海南FCに不覚をとりつまずいた。

3位決定戦兵教大と関西けりレディースの対戦は1次リーグでも顔を合わせ2回目の組み合わせとなった。互いに手の内を知り、けりレディースの初出場を狙った兵教大と、追い込まれて強い兵教大の激しい戦いとなったが、開始早々3分に兵教大が右からのセンターリングを、ブッシュ、ゴールして気を楽に試合を進め、得意の早いつぶしでけりレディースを封じたが、前半終了前にけりレディースのミドルシュートを許し振り出しに戻った。後半は互角の戦いとなったが、兵教大が左からのロビングボールをゴール前で競り勝ってヘディングシュートを決めて、全国大会出場権を獲得した。参加チームが13チームとすこし少ないのが残念であった。

兵庫県協会 5種委員長 蔵 力夫

第10回全日本女子選手権大会関西地区予選(1次リーグ) 1月8日



(決勝トーナメント) 1月15、22日



3月21日から25日国立競技場ほかで行われる全国大会に出場するのは、神戸FCレディース・高槻女子FC・兵庫教育大のほか読売ベレーザ、富士レディース、FC・PAF(東京)日産FCレディース(東京)名古屋レディース、宇和島南高、清水第八スポーツクラブ、モルテンはばたけ女子クラブ(北海道)宮城広瀬高、相模原クラブ(神奈川県)熊本レディース、甘日市高女子サッカー部、FC小平(東京)の合計16チーム。

神戸市社会人運営会議予定 次回 4月13日(木)

18時30分から神戸市立労働会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



神戸のサッカー

ユ-ハイム

1989年 3月号
発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-1 2
〒657 ☎(078)861-3100
毎月10日発行 購読料1部50円

ダイエーカップ国際少年サッカー'89神戸で開催

国際都市神戸で、平成元年をスタートに、少年サッカーの国際大会が、神戸に本社を置くダイエーがスポンサーとなって、3月28日から4月2日まで開催されることになった。

1月31日、ダイエーの中内会長、社長、日本協会岡野副会長らが出席しての記者発表が、オリエンタルホテルで行われ、大会の趣旨や、内容について説明があった。

今大会に外国からは神戸市の友好姉妹都市マルセイユ(フランス)天津(中国)プリズベン(オーストラリア)リガ(ソ連)リオデジャネイロ(ブラジル)シアトル(米国)の六市から、六少年チームが招待される。国内代表は、47都道府県から各1チームと、開催都市神戸市の1チームが加えられて48チームとなり外国招待チームと合わせて54チームで、1次リーグと決勝トーナメントを行って優勝を争う。グループ分けと日程は、2月20日、日本協会において別表の通り決定された。(埼玉県が不出場のため兵庫県からもう1チーム出場することになった。)

兵庫県代表は日程の都合もあり、代表決定

の予選大会が実施できなかったため、大会要項に従って兵庫県協会の選考委員会で、色々な条件を勘案して竜野市の菅田(ほんだ)少年団と明石市の江井ヶ島少年団が出場することに決定した。

神戸市代表は1月に行われたライオンズ杯新人大会で優勝した高倉台サッカークラブが、やはり兵庫県協会の選考委員会で承認されて出場することに決定した。

外国から招待されるチームについては、これまでに神戸に来たことのあるチームは87年のマルセイユ、88年のリオデジャネイロ、天津があるが、どの都市もサッカーの大変盛んな街であり、すばらしいチームを送って来ると想われる。天津には昨年、神戸市少年選抜チームが友好都市提携15周年記念の訪問をしており、その力は神戸のチームより数段上と予想される。

国内のチームでも、夏休みに東京読売ランドで行われる全国少年大会などで常に上位にある清水市や、関東地区の強チームも張り切っている。

今大会の日程では、招待された外国チームが1グループに一つ入っているため、参加チームは必ず一試合は外国チームと対戦することになる。

又、6グループの上位2チーム計12チームと、各グループの3位のチームで優秀なチーム四つを加えた16チームで決勝トーナメントを行うことになっている。

会場は1次リーグは神戸総合運動公園競技場とサブグラウンド及びしあわせの村運動広場と芝生広場の、合わせて九つのグラウンドを使って行い、決勝トーナメントの第一日は総合運動公園2会場、最終日の第二日は神戸中央球場で、準決勝及び決勝を行う。決勝戦はNHKがテレビ放送を行い全国の少年ファンに観てもらえることができる。

神戸、兵庫のサッカーファンの皆様は、毎日、この素晴らしい大会をグラウンドで生に観ることができるのですから本当に幸運です。外国の少年達のプレーも、国内のレベルの高い少年のプレーも、きっと神戸・兵庫の少年サッカー選手に大きな感動と良い刺激となつて、神戸・兵庫のサッカーの隆盛の原動力となることと確信します。

神戸市協会理事長 一北 四郎

神戸兵庫ライオンズクラブ杯春季新人戦

男・女とも 高倉台SCが優勝



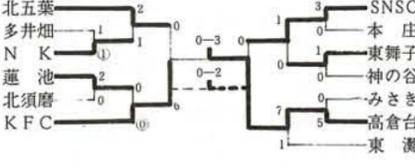
ダイエーカップ'89に出場する高倉台のイレブン

第5回神戸兵庫ライオンズクラブ杯争奪少年大会春季新人戦は1月8日、15、16、22日、しあわせの村、神戸中央サブ、御崎少年グラウンドで1部(男子小5以下)37チーム2部(女子小5以下)16チームが参加して、それぞれ1次リーグと決勝トーナメントを行った。1部では高倉台が5試合で39得点をあげて優勝。2部でも高倉台Aが準決勝で夢野を0対0の後PK戦で降し、決勝では八多を2対1と制して優勝した。

第5回神戸兵庫ライオンズクラブ杯争奪少年大会 春季新人戦 結果

- 1部(男子) 一次リーグ順位
Aグループ ①北五葉 ②夢野 ③八多
Bグループ ①SNSC ②KSS ③塩屋
Cグループ ①多井畑 ②神隆台 ③新多聞
Dグループ ①本庄 ②成徳 ③神出
Eグループ ①北須磨 ②西神 ③福住
Fグループ ①高倉台 ②ひよどり台 ③平野
Gグループ ①N.K ②マック ③桜の宮
Hグループ ①東舞子 ②つじが丘 ③若草
Iグループ ①みさき ②鴨越 ③YMCA
Jグループ ①運池 ②学園小寺 ③西須磨
Kグループ ①神の谷 ②有野 ③小部東
Lグループ ①KFC ②東灘 ③木津 ④和田岬

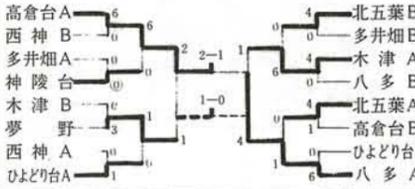
1部 決勝トーナメント



2部(女子) 一次リーグ

- Mグループ ①高倉台A ②木津A ③ひよどり台B
- Nグループ ①ひよどり台A ②神隆台 ③多井畑B
- Oグループ ①北五葉B ②高倉台B ③西神A
- Pグループ ①八多A ②夢野 ③多井畑A
- Qグループ ①北五葉A ②木津B ③西神B ④八多B

2部 決勝トーナメント



1次リーグ 組み分け

- Aブロック ① シアトル ② 栃木:姿川
- Bブロック ① SNSC ② 青森:光田寺S.S
- Cブロック ① 宮崎:木之内川内S.S.S. ② 神戸:高倉台S.C. ③ 鳥取:渡S.S. ④ 富山:西田地方S.S.S. ⑤ 三重:四日市S.S. ⑥ 高知:野市S.S.
- Dブロック ① 天津 ② 茨城:友部町S.S.S. ③ 山梨:三吉S.S.S. ④ 岐阜:城西S.S. ⑤ 福島:桑野S.S.S. ⑥ 奈良:高田F.C. ⑦ 島根:内中原C. ⑧ 長崎:土井首S.S. ⑨ 佐賀:浜SC
- Eブロック ① プリズベン ② 静岡:清水FC ③ 宮城:仙台市中田S.S. ④ 愛媛:新宮浜市船木教室 ⑤ 広島:千田青少年S.C. ⑥ 兵庫:江井ヶ島S.S.S. ⑦ 滋賀:笠縫S.S.S. ⑧ 福井:立待小学校FC ⑨ 沖縄:与那城村FC.
- Fブロック ① マルセイユ ② 秋田:飯島南S.S.S. ③ 鹿児島:昭和S.S.S. ④ 大阪:寝屋川S.C. ⑤ 山口:琴石FC ⑥ 和歌山:新居みどりS.C. ⑦ 香川:太田S.S.S. ⑧ 群馬:前橋ジュニアS.C. ⑨ 石川:金沢南S.S.S.
- Gブロック ① リオデジャネイロ ② 千葉:シーアイ・イレブン ③ 北海道:北園S.S.S. ④ 大分:FC中津 ⑤ 岡山:荘内S.S. ⑥ 福岡:豊津S.S. ⑦ 兵庫:菅田S.S. ⑧ 岩手:大槌S.S. ⑨ 長野:S.S.S. 筑摩イレブン
- Hブロック ① リガ ② 東京:高島平S.C. ③ 新潟:402ジュニア・キッカーズ ④ 京都:京都城陽S.S.S. ⑤ 徳島:八万少年S.C. ⑥ 愛知:市江SC ⑦ 山形:浜田S.S. ⑧ 熊本:西合志中央S.C. ⑨ 神奈川:S.S. 駒林S.C

県高校 滝川第二 4年連続4回目の優勝

63年度兵庫県高校新人大会は2月11、12、13、18、19日と神戸地区の7会場で行われた。決勝戦は2月19日、神戸中央球場で滝川第二と小野の対戦で13時から開始された。

第1シードの滝川第二は準々決勝で三原に0対0、P・K戦で辛勝したものの、準決勝ではシード校の飾磨を倒した加古川東に2対0と完勝し、順当に決勝へ駒を進めた。また、小野は福崎、御影工と強チームを連破して波に乗り、準決勝では宝塚西を2対1で破って4年ぶりの決勝進出を果たした。

滝川第二は例年と比べると個人技はやや劣るものの、チームワークが良く、特に中盤からの連携プレーに磨きをかけてきた。一方、小野は準決勝までの4試合で11得点と、FWの得点力が高く好ゲームが期待された。

試合がはじまると、滝川第二の分厚い攻撃に対して小野は防戦一方となり、ほとんど自陣で戦う破目になってしまった。滝川第二が前半28分、後半23分にPKを決め、30分にもダメ押し点を入れて3対0で快勝した。

滝川第二は苦戦の連続だった昨年のうっぶんを晴らすかのように、堂々と4年連続4度目の優勝を飾った。

▷決勝 (2月19日、神戸中央)

滝川第二 3 (1-0) 0 小野
得点者【滝】重野 PK 小野山 PK 小野山

【大会優秀選手】山田栄一郎 藤井泰之 井上浩次 日下部孝夫(滝川第二) 岩谷真吾 戸田誠之 松浦直彦(小野) 松本憲二 上月勤(加古川東) 下地正克 坂本正則(宝塚西) 吉田竜司(三原) 豆成修(御工) 庄内竜也(赤塚山) 田辺靖(飾磨)

昭和63年度 兵庫県高等学校新人大会結果



優勝した滝川第二 写真提供 神戸新聞社



県中学校 御原中優勝

第8回兵庫県中学校新人大会は2月19日と26日、明石公園、神戸市立高倉中学校で県下8地区代表16チームが参加して行われた。

決勝戦は順当に勝ち進んだ御原中学と伝統復活した甲陵中学の組み合わせとなった。キックオフ直後から御原の猛攻が始まり、前半6分左からのセンターリングをエース興津が見事に先取点を上げた。

後半も御原が優位にたち8分、今度は右から興津がセンターリング、それを中央で待ちかまえた菅がヘディングシュートを決めた。

甲陵も後半16分、18分と戸塚の頑張りからチャンスをつかんだが、得点には至らなかった。興津を中心とした御原中学は県のNo.1にふさわしいチームであった。

▷決勝 (2月26日、明石公園)

御原中学 2 (1-0) 0 甲陵中学

第8回63年度兵庫県中学校新人大会結果

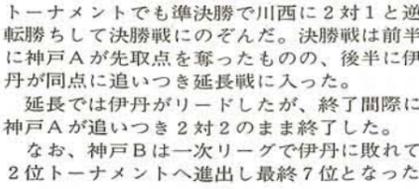


県都市対抗 神戸A、伊丹分ける

第11回兵庫県都市対抗選抜少年大会(モンブラン杯)は2月11、12日とユニバー記念サブグラウンドで行われ、神戸A、伊丹が同時優勝した。県内15地区から16チームが参加して、1日目は4チームごと4組の一次リーグ、2日目は各組同順位によるトーナメントを行った。

伊丹はリベロ都を中心に好選手をそろえチームワークの良さで試合ごとに調子を上げて決勝戦へ進出した。神戸Aは船越、稲田を中心に、一次リーグを2勝1分で通過し、決勝トーナメントでも準決勝で川西に2対1と逆転勝ちして決勝戦にのぞんだ。決勝戦は前半に神戸Aが先取点を奪ったものの、後半に伊丹が同点に追いつき延長戦に入った。

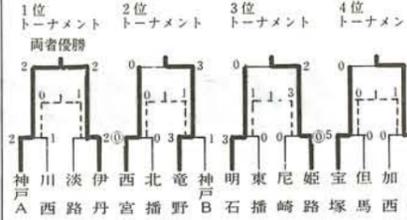
延長では伊丹がリードしたが、終了間際に神戸Aが追いつき2対2のまま終了した。なお、神戸Bは一次リーグで伊丹に敗れて2位トーナメントへ進出し最終7位となった。



第11回兵庫県都市対抗選抜少年大会結果

- ▷一次リーグ
- 1組 ①神戸A 2勝1分 ②西宮 1勝2分
 - ③明石 1勝2敗 ④宝塚 1分2敗
 - 2組 ①川西 2勝1敗 ②北播 1勝1分1敗
 - ③東播 1勝1分1敗 ④但馬 1勝2敗
 - 3組 ①淡路 3勝 ②滝野 2勝1敗
 - ③尼崎 1勝2敗 ④加西 3敗
 - 4組 ①伊丹 1勝2分 ②神戸B 2勝1敗
 - ③姫路 1勝1分1敗 ④芦屋 1分2敗

▷二次トーナメント



神戸市中学 高倉中2連覇

第39回神戸市中学校新人大会は1月15、16、22、29、2月5日の5日間、市内各中学校会場で、37チームが参加して開催された。

決勝は高倉中対友が丘中の対戦になり、後半2得点した高倉中が勝って、22年連続優勝を達成した。両校とも少年リーグでボールに慣れ親しんだ選手が多く、ボール扱いがうまいチームで、前半は互角の見応えのある試合になった。しかし、前半終わり頃から高倉中が中盤で、10番位田を中心にボールがよくつながりだし、ペナルティエリアの外から果敢にシュートを打ちリズムをつかみだした。

後半4分に高倉中左ウイングから逆サイドに低いボールが入り、6番大上がよくつめ、シュートを決めてリードした。さらに19分にもCF福井がゴール正面で友が丘DFをかかわしてシュート、勝利を手にした。

優勝した高倉中は非常に正確なパスワークと中盤を軸に展開力のある好チームで、今大会も対戦相手に、持ち前の早い攻撃でチャンスに確実に得点して勝ち進んだ。敗れた友が丘中もMF金子を中心としたまとまりのあるチームで、1回戦塩屋に苦戦のPK勝ち以外は危なげなく勝ち進んできた。また、3位の鷹匠中、広陵中も今後が期待される。

▷決勝 (2月5日)

高倉中 2 (0-0) 0 友が丘中

第39回 神戸市中学新人大会 結果



南アメリカクラブ選手権大会(1987年)

- ▷第1戦(コロンビア・カリ市)
アメリカデカリ 2-0 ペニャロール (コロンビア) (ウルグアイ)
- ▷第2戦(ウルグアイ・モンテビデオ市)
ペニャロール 2-1 アメリカデカリ
- ▷第3戦(中立的地:チリ・サンチアゴ市)
ペニャロール 1-0 アメリカデカリ

天に天国あり 地にフットボールあり

南アメリカ3カ月の旅 ⑤

<19>

上野 勝幸



せっかく外国に来たのだから、時々からだの調子を悪くすればかわいいのだが、どうやら何を食べても大丈夫みたい。米のメシは1か月も過ぎかっている。だが「食は文化」である。その土地でとれる材料を使って、気候にあった生活の中から、長い歳月をかけて築き上げてきた、人間の知恵の結晶だと思ふ。世界中どこへ行っても、土地の料理が最高に違いない。

物価の高い日本では御馳走(ごちそう)にありつけず、霞(かすみ)と人々を食

モンテビデオ(ウルグアイ) ③

エントロピーの原理

草履一足分もあるステーキ、まろやかな赤ワイン、それにデザート、コーヒーをいただいて、千円でジャラジャラとお釣りが来た。コップに少し飲み残したビールは、時間がたった今、ホップは大気中に拡散し、生ぬるくなっている。

のっけから奇妙な話に見えるが、われわれの周りに見える現象はすべて非可逆変換であり、自然界は絶えず秩序ある状態から、無秩序の状態へと移っていく。言い換えれば、無秩序とか、乱れの度合が、絶えず増大する方向に進む。これを、「エントロピー(Entropy)の法則」と呼んでいる。何かか難しそうだが、われわれが経験している日常生活を注意深く見つめれば、「エントロピーの法則」は「自明の理」だということ

「エントロピーの法則」は「熱力学の第二法則」のことだが、これは技術者のものだけではない。絶対普遍と考えられることから、法則というより「原理」と呼ぶべきなのだが、それはともかく、宇宙(あるいは地球)に住む人類は、この法則の支配から逃れられない。

い。自然の治癒・再生能力を超えた開発は、必ず人間社会にツケが回ってくることを、「エントロピーの法則」は示唆している。そして、ショックな話だが、スポーツの世界でも例外ではないのである。

今日のスポーツにおける勝利至上主義やナショナリズムの台頭は、科学技術の進歩とともに、選手の人権の相対的な低下、選手の商品化、さらにドーピング問題などを引き起こしているが、これも「エントロピーの法則」から読み取ることができよう。

フットボールの得点も、エントロピーの減少を目的とした仕事ではなからう。センタースポットに置かれたボールは、風でも吹かない限り、ひとりではゴールへ転がり込むことはありえない。選手は試合当日までに摂取・蓄積した最大エネルギーを駆使し、最終守備者のGKをかわしてゴールを狙う。ゴールとボールは仲が悪いということもあるが、相手チームの防壁の仕事エネルギーを無駄(むだ)に終わらせ、ゴールにボールを送り込むことは、至難のワザである。

試合という一つの中の系の中では、ゴールを奪う目的のためにエントロピーは減少しているが、その外界では間違いなく秩序が失われている。選手たちがトレーニングの過程で摂取する食事や、サポーターの応援など、付随する行動のためのエネルギーの消費がそれである。フットボールに限らず、

厨房(ちゅうう)から出てきた。思い直したのか、引返して手間のからないポテトフライとビールだけは出してくれた。

90分が終わって0-0、延長に突入した。この試合が引き分けになった場合は、1、2戦の得失点差が生き返ってアメリカ・デ・カリの優勝が決まる。時計の針は残り10秒を切った。だが、奇跡が起こった。ペニャロールの若きエース、アギレが角度のないところから、左足のシュートを決めた。バパーン、通りには爆竹が鳴らされ、静まり返っていた町には、せきを破った鉄砲水のように群衆が流れ込んできた。150万の人口は神戸とほぼ同じ。だが、陽気に歌い、踊り狂うパレードは、整然と行進する「神戸まつり」とは、全く次元の違う世界であった。

朝方まで続いたモンテビデオ市民の天真爛漫(いらんまん)な振る舞いは、エントロピーの増大なのだろうか、それとも減少と考えるべきなのだろうか。―続く― (うえのかつゆき 写真も) (参考文献) 『エントロピーの法則—21世紀文明観の基礎—』ジェレミー・リフキン、竹内均=訳、祥伝社



1982年に獲得したトヨタカップと、ペニャロールの優勝に歡喜するサポーターたち



モンブラン発。愛するサッカー人へ。

SOCCER SHOES

マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・ケリー ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000

TRAINING SHOES

コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,800

TRAINING SHOES

コーチャーCTR21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200

モンブラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目16 TEL(078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL(03)862-5891 福岡支店 〒816 福岡市博多区那珂1丁目12 TEL(092)473-8881